

61期が喜寿を祝う会



記念撮影のあとはピアノ演奏など楽しんだ61期の同期会の人々

静中61期会の平成一七年度総会が、去る四月九日午後五時からJR静岡駅前ホテ

を迎えたことから「喜寿を祝う会」とし、参加を呼びかけたところ、予想を大きく上回る九三名から出席の連絡があった。

しかし、当日になると花粉症や発熱などで八名が体調を崩して欠席、八五人になったのはちょっと残念だった。

忙しいスケジュールを割いて、久しぶりに出席する東京芸大音楽科名誉教授の坪田昭三君がピアノ演奏をしてくれると言ったのも、多数参加の要因ではなかったかと思う。

坪田君(東京芸大名誉教授)ピアノ演奏 円熟の旋律に深い感銘

ル・アンソニア静岡ターミナルで催された。今回は、卒業六〇年、喜寿

身かと一瞬身が引き締まりました。芹澤五郎より簡単な会

計報告、最後に来春も当ホテの、北は龍爪山南は駿河湾

まで一望の一五階の今回の部屋で衆議一決同期会の開催を決めました。

あとは自然の流れの中で満場の熱気はとどまらず上昇し、和気藹々清談閑談懐古談

老節の波調の長い空論は酒が入るにつれて滑りが良くなり、注しつ注されつと程程に酩酊

宴席は暫時、花盛りの別天地が続きました。然し諺の通り「人生没有不散的筵席」か、何時の間か別れの時が来、遠来の志田清君の指揮で、フィナーレは当然乍ら岳南健児の校歌を往年の美少年よろしく元気旺盛四番まで興隆方も夫唱婦随の大合唱、双頬を紅潮させ生涯至福の一刻を爽やかに堪能しました。尽きぬ名残りを惜みつつ来春は二名以上の再会を約し散会しました。(芹澤五郎)

二君の乾杯の音頭が始まる。「年とともに食べる量も飲む量も減ったよ」と言いながらも杯を重ねるうちに口が軽くなる。卒業後、職業志すものは異っても社会の波を乗り切り七七年間生き抜いてきたという共通項がある。あちこちで話が盛り上がるが、若い時のように議論を闘わす

こともなく、穏やかな雰囲気

に終始、春宵のひと時を楽しみ過した。

締めは望月君の音頭で校歌を四番まで元気いっぱい斉唱、来年の再会を約して閉会。帰りには同窓会が製作した校歌・応援歌のCDが記念品としてプレゼントされた。(61期 河村 勲)

伴奏でカラオケ大会、席を入り乱れての懇談が続く。ホステス嬢が、とても七五歳とは思えないと言ったのも尤もだ。予定では一九時過ぎに終わるつもりが、応援歌の合唱を経て柴田君の閉会宣言があったのは一九時五〇分。盛り上がったクラス会となった。

62期と63期は同じ昭和一七年四月入校だが、戦時下の特別で旧制四年卒と五年卒の二年に分かれたため、卒業回次が二つになっている。

(参加者) 家本豊 伊東守 白井晋 大石一輔 大庭陽三 香川一郎 川生手巳也 吉川隆士 小宮鳥夫 柴田克朗 田着光 田代一雄 土橋悦朗 寺尾寿夫 福岡純一郎 望月雄介 山口登 山根雅巳 以上一八名 (63期 伊東守)

花曇の四月一〇日の日曜日、駿河路は正に桜花撩乱の日和、53期恒例の同期会をアンソニア静岡ターミナルホテルで開催しました。京浜より三名、関西より一名近郊より夫人五名を含め一八名合計二名がびつたり正午に集まり開宴。先づ記念写真を八チバチ数枚撮影し、久闊を叙するいとまもなく、早や時計の針は六〇余年前に逆戻り、ストレートに青春回顧、一同健在なるを確認し合い、会の進行は極めて順調に進行、先づ加藤俊雄君の乾杯のスピーチ、彼は一言「戦争中鉄砲の弾丸にも当らず今日まで生き

満開の桜に負けず 宴会場に熱気の渦 53期 夫唱婦随で校歌合唱

残ったからにはまだまだ頑張るつと、唯唯戦死した友が本

当に可哀相だと心に念じつつ乾杯、一同心に浸み渡り友の冥福を祈りました。そして清水四麻夫君から八十路の坂は

誠に厳しいが健康長寿が一番との簡潔明瞭、来春に同期会を繋げようとの激励の挨拶、続いて中村孝次郎君より同期生の現状報告がありました。

昨年一〇月鈴木正久君、今年一月山田茂君が夫々世界し卒業生二〇三名の中、生存確認者は本年四月一〇日現在六三名、住所不明二名、死亡者は二二名と増え、明日は我

身かと一瞬身が引き締まりました。芹澤五郎より簡単な会

計報告、最後に来春も当ホテの、北は龍爪山南は駿河湾

まで一望の一五階の今回の部屋で衆議一決同期会の開催を決めました。

あとは自然の流れの中で満場の熱気はとどまらず上昇し、和気藹々清談閑談懐古談老節の波調の長い空論は酒が入るにつれて滑りが良くなり、注しつ注されつと程程に酩酊宴席は暫時、花盛りの別天地が続きました。然し諺の通り「人生没有不散的筵席」か、何時の間か別れの時が来、遠来の志田清君の指揮で、フィナーレは当然乍ら岳南健児の校歌を往年の美少年よろしく元気旺盛四番まで興隆方も夫唱婦随の大合唱、双頬を紅潮させ生涯至福の一刻を爽やかに堪能しました。尽きぬ名残りを惜みつつ来春は二名以上の再会を約し散会しました。(芹澤五郎)



夫人を交え満面笑みを浮かべ並んだ53期の同期会員

身かと一瞬身が引き締まりました。芹澤五郎より簡単な会

計報告、最後に来春も当ホテの、北は龍爪山南は駿河湾

まで一望の一五階の今回の部屋で衆議一決同期会の開催を決めました。

あとは自然の流れの中で満場の熱気はとどまらず上昇し、和気藹々清談閑談懐古談老節の波調の長い空論は酒が入るにつれて滑りが良くなり、注しつ注されつと程程に酩酊宴席は暫時、花盛りの別天地が続きました。然し諺の通り「人生没有不散的筵席」か、何時の間か別れの時が来、遠来の志田清君の指揮で、フィナーレは当然乍ら岳南健児の校歌を往年の美少年よろしく元気旺盛四番まで興隆方も夫唱婦随の大合唱、双頬を紅潮させ生涯至福の一刻を爽やかに堪能しました。尽きぬ名残りを惜みつつ来春は二名以上の再会を約し散会しました。(芹澤五郎)

あとは自然の流れの中で満場の熱気はとどまらず上昇し、和気藹々清談閑談懐古談老節の波調の長い空論は酒が入るにつれて滑りが良くなり、注しつ注されつと程程に酩酊宴席は暫時、花盛りの別天地が続きました。然し諺の通り「人生没有不散的筵席」か、何時の間か別れの時が来、遠来の志田清君の指揮で、フィナーレは当然乍ら岳南健児の校歌を往年の美少年よろしく元気旺盛四番まで興隆方も夫唱婦随の大合唱、双頬を紅潮させ生涯至福の一刻を爽やかに堪能しました。尽きぬ名残りを惜みつつ来春は二名以上の再会を約し散会しました。(芹澤五郎)

あとは自然の流れの中で満場の熱気はとどまらず上昇し、和気藹々清談閑談懐古談老節の波調の長い空論は酒が入るにつれて滑りが良くなり、注しつ注されつと程程に酩酊宴席は暫時、花盛りの別天地が続きました。然し諺の通り「人生没有不散的筵席」か、何時の間か別れの時が来、遠来の志田清君の指揮で、フィナーレは当然乍ら岳南健児の校歌を往年の美少年よろしく元気旺盛四番まで興隆方も夫唱婦随の大合唱、双頬を紅潮させ生涯至福の一刻を爽やかに堪能しました。尽きぬ名残りを惜みつつ来春は二名以上の再会を約し散会しました。(芹澤五郎)

「不滅なり64期」



62・63期同期会出席者(上)と校旗を中心に写真撮影におさまった64期同盟会会員

64期同期会は、定例日の六月四日に五三名の出席をもつて、ブケ東海にて行われた。総会に先立ち、今年度物故された九名の方々に偲んで黙禱をささげ、議事終了後は一年ぶりの友、久しぶりの友交々昔に帰って、和やかな懇親会となった。ご出席の先生

八八才、渡辺福太郎先生八四才とあり、共に若く深刺とされているお姿に一同感動、我々も負けてはならぬの思いは散会後の歓楽街で発揮したのではなからうか。それはともかくとして、桜井一男現同窓会長を輩出した我が七五才の同期は、新たに海野安弘君を同期会会長に選び多彩であ

毎月行われるゴルフ有志の会、第三金曜日に集る飲み会、ベトナムやモンゴルと青少年や母校のために活躍する藤田栄君に協力する同志、母校野球部の試合には必ずスタンドで声援する面々、七月七日を例会日とする関東同期会、趣味が卓越して玄人となる人等々、このエネルギーが続く限り、64期は不滅である。(64期 片山修二)

毎月行われるゴルフ有志の会、第三金曜日に集る飲み会、ベトナムやモンゴルと青少年や母校のために活躍する藤田栄君に協力する同志、母校野球部の試合には必ずスタンドで声援する面々、七月七日を例会日とする関東同期会、趣味が卓越して玄人となる人等々、このエネルギーが続く限り、64期は不滅である。(64期 片山修二)

ASAHARA Good News For You! 当店では、今、「オレンジピネガー」の人氣が急上昇。おいしい、簡単、ヘルシー、時にはオリーブオイル、大根おろし、をブレンドして、あなたのアイデアで、ピネガーを幸せ色にしてください。総合食品卸 贈答品(乾海苔 椎茸 海産物) 流通センターの(有)朝原商店 代表者 朝原郁之典(77期) 秀典(108期) 本社(054)253-5597 流通店(054)263-3439 FAX(054)250-2885

“福”を呼ぶ石福の金地金販売しています!! 石福の金地金千両箱は、岩手の民芸家具工人が木取りからすべて手作りで仕上げられています。千両箱/5kg用:重さ1.5kg、10kg用:重さ3kg 地金5kg、10kgお買い上げの方 「石福の金地金千両箱」プレゼント。 宝石・時計・メカネ・金地金販売 コーラルベル 静岡市葵区奥服町2-1-9 奥服町プラザビル1F 054-252-1818 佐川 博(84期) 佐川里美(88期) 静岡名店街契約駐車場、市役所地下駐車場(土・日・祝) ふしみや